

第7回 青谷地域振興会議

日時：平成30年1月23日（火）午後3時～

会場：青谷町総合支所 第2、3会議室

日 程

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議 題

(1) 「鳥取市新市域振興ビジョン」の改定について

(資料1：P1～P2)

(2) むきばんだ史跡公園視察研修の総括について

(資料2：P3～P9)

(3) その他

4. そ の 他 (資料3：P10)

5. 閉 会

資料 1

新市域振興ビジョン改訂の考え方について

1. 概要

「新市域振興ビジョン」は、新市域の10年先を見据えた地域の特性を生かしたまちづくりの方向性を示すものとして平成26年8月に策定され、重点的に取り組む必要性のある項目については「推進計画」を作成し、計画的に事業を推進しているところです。

推進期間の短期（26～29年度）が経過するにあたり、平成28年4月に策定された「第10次鳥取市総合計画」との整合性を図ることにより、当ビジョンの改訂を行うこととします。

2. 見直し作業の内容

(1) ①ビジョン第2編「5. 地域別の現状と課題、目指す将来像」(P15～31)、②参考資料「1. 地域の歴史、特性、資源」(P81～88)、③その他必要な箇所において修正等行います。

(2) 推進計画の見直し依頼については、平成30年2月頃に行うこととしています。

(中・長期事業を見据えての変更を予定)

3. 今後のスケジュール

	平成29年度					平成30年度				
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
の改訂 ビジョン	依頼	作業期間	地域振興 会議協議	報告	PT協議	地域振興 会議報告	PT協議	推進本部 会開催	公表	地域振興会議報告
の見直し 推進計画	地域振興会議での報告(年2回程度)			依頼	報告	地域振興会議報告	協議	公表		

新市域振興ビジョン改定案

	改正前	改正後
P30	<p>② 青谷上寺地遺跡の利活用 平成22年度に本町の関係団体などをメンバーに「青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会」を立ち上げ、さまざまな活動を行う中で、遺跡の認知度は上がってきています。しかしながら、「青谷上寺地遺跡展示館」の入館者数は減少傾向であり、遺跡を集客の目玉の1つとして、引き続き本町を挙げて認知度を上げるとともに、充実した施設の早期整備を推進する必要があります。</p>	<p>② 青谷上寺地遺跡の利活用 平成22年度に関係団体などをメンバーに「青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会」を立ち上げ、さまざまな活動を行っていますが、「青谷上寺地遺跡展示館」の入館者数は減少傾向です。今後平成31年度から青谷上寺地史跡公園整備が始まる予定です。出土遺物は全国的にも誇れるものであり、史跡公園整備により多くの集客が見込まれますが、多様な来場者のニーズ対応のためには、史跡公園運営に地域住民の参画を促す必要があります。</p>

妻木晩田史跡公園視察のまとめ

資料 2

日 時：平成29年11月8日（水）

参加者：高橋委員、奥谷委員、鈴木委員、長谷川和郎委員、濱江委員、松岡委員、
前田委員、大石委員（以上8名）
山本支所長・清水副支所長・松原補佐・山田主幹（以上支所職員）

○年間入場者数 別添資料のとおり

学校・幼稚園等団体利用が増えてきた
学校については、教員間の口コミ
当初は、学校に営業回りを行った。

○関係団体の設立経緯

遺跡発見時に保存活動が盛り上がり、時の知事が保存方針を決めたため、その盛り上がりそのまま今の関連団体に移行した格好。・・・特に苦勞したとは聞いていない

- ・ボランティアガイド（毎年養成講座を開催）：41名

館内展示案内

定時ガイド

- ・むきばんだ土器づくりの会：

土器づくり初心者コース等での作成指導

イベントでの土器づくり体験コーナーの設置

- ・むきばんだ応援団「むきばんだを歩く会」

新緑祭り、秋麗祭りでの弥生の森散策ツアーガイド、草木染体験への協力

- ・むきばんだカゴづくりサークル

むきばんだ祭りでのコーナー設置

- ・弥生体験ボランティア：20数名

島根大学は学生にボランティアを義務化。大学と連携し受け入れしている。

- ・むきばんだ女子考古部

H29年度から立ち上げ。19名応募あり。

- ・ジュニア応援団を毎年、募集している（1年間）。

年10回程度

○関係団体員の居住地

西部中心だが、必ずしも大山町・淀江町には限っていない

○関係団体への謝礼

ボランティアガイド等は基本無償。但し、旅費相当として1回1千円支給。

○公園の維持管理

嘱託職員2名で実施。その他臨時職員6名程度も

○地元自治体と連携した事業の実施（県、大山町、米子市）

活用実行委員会主催事業

国史跡妻木晩田遺跡の整備活用について

鳥取県立むきばんだ史跡公園

1 整備事業の概要と経過 (第1図、表1)

H17年
当初、この7塔前茶の計画
→ 茶屋跡 → 塔見
表1 整備事業一覧

年度	整備内容				公有化	特記事項
	遺構整備	遺構整備 遺構(塔・礎石・ 土・石・瓦)	園路整備	施設整備		
H11	洞ノ原(東):墳丘墓露出展示	漆遺構埋め戻し		駐車場、展示室		
初期整備	H12	洞ノ原(東):墳丘墓復元・遺構表示	洞ノ原(東)	洞ノ原(東)	展示室	
	H13	洞ノ原(東):建物復元・遺構表示	洞ノ原(東)	洞ノ原(東)	ボランティア棟	
	H14	洞ノ原(西):建物復元・遺構表示(障壁)	洞ノ原(西)	(管理道補修)		
	H15	洞ノ原(西):建物復元	洞ノ原(西)			
	H16	松尾城:墳丘墓遺構表示(1・2号墓) 山谷:墳丘墓遺構表示(2・3・3号墓)	松尾城 妻木山			
第1期整備	H17		妻木新山	洞ノ原		
	H18		妻木新山 松尾城			
	H19		妻木山			
	H20	妻木山:建物復元(掘立柱建物)	妻木山	松尾城(管理道)	ガイダンス(建築)	
	H21	妻木山:建物復元(堅穴住居4棟)	妻木新山(※植樹 範囲)		ガイダンス(建築) ガイダンス(展示)	
	H22	妻木山:建物復元(堅穴住居4棟)		妻木山	弥生の森休憩舎 遺構展示館	「むきばんだ史跡 公園」に改称
	H23	妻木山:遺構表示		妻木山(工区外管理道) 妻木新山 松尾城(管理道)		
	H24		松尾城			グランドオープン
H25			松尾城		防災設備設置	
H26					屋外放送設備設置	
H27			洞ノ原(管理道舗装)			
H28			洞ノ原(管理道舗装)			

※第1期整備残部及び第2期整備について検討、施工(H29～)

2 主な活用事業と来園者の動向 (表2、第2図)

表2 むきばんだ史跡公園の主な活用事業（参考：平成28年度）

事業名	おもな内容	
遺跡で学ぶ活用	弥生ものづくり講座（入門編）	対象は一般(小学3年生以下保護者同伴) 1) 弥生土器作り、2) カゴづくり、3) 機織り
	弥生ものづくり講座（プロフェッショナル編）	対象は高校生以上 1) 弥生土器復元・野焼き、2) 鹿角釣針づくり・釣り体験、3) 青銅鏡づくり
	弥生の森講座	対象は一般(小学3年生以下保護者同伴) 1) 春の自然観察会、2) 夜の昆虫観察会、3) 昆虫採集、4) 写生教室
	むきばんだジュニアファンクラブ	〈年間9回、小学校3～6年生対象〉①古代米、陸稻等弥生の炊作り、②土器作り、③貝紫染め・青谷上寺地遺跡出土品見学、④石包丁作り・収穫、⑤むきばんだまつり(収穫祭)参加、⑥鉄器づくり、⑦木さじづくり・脱穀体験、⑧雑炊づくり、⑨ミニ発表会・修了証授与・餅つき
遺跡を楽しむ活用	お気楽！弥生気分♪	土日祝日、GW及び夏休み期間中は毎日実施。火おこし体験、勾玉づくり、石包丁づくり、土笛づくり、弥生の鏡づくり ※上記とは別に日替わり弥生体験(カゴづくり、組ひも、土器・ハニワづくり等)実施
	GWは、むきばんだ日和	ゴールデンウィーク中に日替わりで行う弥生体験 (4/29:琥珀勾玉づくり・本格石包丁づくり、4/30:草木染め・狩猟体験・弥生の森散策ツアー、5/1:土器・はにわづくり・縄布コースターづくり、5/2:文化財専門職員によるフィールドトーク、5/3:組ひもづくり・花カルタ、5/4:カゴづくり・貝輪アクセサリーづくり、5/5:鹿角アクセサリーづくり・弥生のお菓子づくり)
	サマーイベント弥生体験フェスティバル	通常メニューに日替わりメニューを加えた全17種類の弥生体験が楽しめる一日限定のイベント
	むきばんだまつり	毎年秋に開催するむきばんだ史跡公園最大のイベント ①収穫祭、ステージイベント、②各種弥生体験、③県内外施設による古代体験、④弥生のごちそう(古代米ごはん・ドングリすいとん・魚のつかみどりと串焼き・鹿焼肉)等
	むきばんだどきどき！冒険！大山アヂキャンプ	対象は小中学生とその保護者 大山の自然散策や地蔵体験、妻木晩田遺跡の見学や勾玉づくり等1泊2日のキャンプ
	弥生の国邑写真コンクール	「弥生の国邑」妻木晩田遺跡の魅力伝える季節感のある写真を公募し、入賞作品は写真展で展示(HPやパンフレット、名刺等に使用してPR)。
	古代と自然探検隊	【妻木晩田遺跡活用実行委員会事業】 対象は小学4年生から中学生 ①妻木晩田遺跡見学・勾玉づくり、②上淀白鳳の丘展示館見学、③カヌー体験
なりきり弥生人生活	【妻木晩田遺跡活用実行委員会事業】 8/19～20、8/20～21の2回、各6グループ ①遺跡見学、②勾玉づくり、木さじ・はしづくり、③食事づくり(土器炊飯等)・宿泊体験、④星座観察	



第2図 むきばんだ史跡公園入場者数の推移

3 地域と連携した様々な取り組み

(1) 活用事業における各種団体との連携

○むきばんだ応援団

むきばんだを歩く会、土器づくりの会、カゴづくりサークル

○妻木晩田遺跡ボランティアガイドの会

○弥生体験ボランティア

(2) 妻木晩田遺跡を核とした取り組み

○妻木晩田遺跡活用実行委員会（県、大山町、米子市）

→活用実行委員会主催事業の開催、連携

- 復元住居
- 骨格復元住居
- 復元倉庫
- 復元墳丘墓
- 見学路
- 国史跡指定範囲 150ha
- 発掘調査範囲



第1期整備区域



初期整備 (洞ノ原地区)
(平成12~15年度)
第1期整備
(平成16~23年度)

第2期整備

第1図 史跡妻木晩田遺跡整備全体図



史跡 向山古墳群

史跡 上野原寺

黒羽県立 米子白鳳高校



平成30年度上寺地遺跡応援団設立事業（上寺地遺跡利活用推進事業）

（目的）

青谷上寺地史跡公園の整備が平成31年度から始まる予定です。青谷町地域にとっては、この史跡整備は地域の魅力向上につながり、また活性化へのよい機会であると考えます。これに伴い増えるであろう流入客のニーズに対応するためには、上寺地遺跡関係者のみではなく、地域住民等による参画が必要となると考えます。

その手始めとして、住民等で組織し、史跡公園運営に協力する「青谷上寺地遺跡応援団（仮称）」の育成に努め、更にこれを核として各種関連ボランティア団体設立に波及するよう取り組みを行いたいと考えています。

（内容）

遺跡発見から既に約20年経過し、青谷上寺地遺跡に対する地域の関心や気運が低下しているように感じます。そこで初年度としては、初心に返り、遺跡の学習から始め、他史跡公園における地域住民の関わり、既存事業への参加などを通じて積極的に史跡整備事業後の運営への関わりに参画する気運を高めたいと思います。

（講座）

○上寺地遺跡講座（初級者講座）：青谷調査室に講師依頼

- ・弥生時代の文化
- ・上寺地遺跡のすごいところ
- ・上寺地遺跡現地研修（現地・出土品研修）
- ・青谷地域の史跡
- ・青谷地域史跡現地研修など

○ものづくり講座

- ・木製品づくり講座 3回程度
- ・土器づくり講座 3回程度

○他史跡公園における地域住民の関わり（先進地視察）

むきばんだ史跡公園

*募集範囲：鳥取西地域を中心に（予定）

（その他既存事業への参画）

- 古代米栽培事業（田植え・稲刈り）
- 菖蒲等の栽培

1 公の施設名

鳥取市気高町勤労者体育センター
 鳥取市気高町農業者トレーニングセンター
 鳥取市気高町B & G海洋センター
 鳥取市気高町運動広場
 鳥取市気高町龍見台テニスコート
 鳥取市鹿野町農業者トレーニングセンター
 鳥取市鹿野町B & G海洋センター
 鳥取市鹿野町運動広場
 鳥取市青谷町グラウンド
 鳥取市青谷町グラウンドテニスコート
 鳥取市青谷町農村広場
 鳥取市青谷町体育館
 鳥取市青谷町農林漁業者トレーニングセンター

2 指定管理期間

平成30年4月1日から平成33年3月31日まで（3年間）

3 指定管理者候補者として選定された団体

（住所）鳥取市鹿野町鹿野1065番地
 （団体名）特定非営利活動法人鹿の助スポーツクラブ
 （代表者名）代表理事 谷 口 一 真

4 選定された団体の提案内容

- ・地域の拠点となる施設の継続に向け、経費の見直しや施設の利用促進を図るとともにその活用による地域の利用者の健康増進を進め、社会保障費の削減を目指す。
- ・ペーパーレス化や各種情報をデータベース化することにより業務の効率化を図る。
- ・広域施設を管理するに当たり、可能な限り既存の職員を採用するとともに、職員配置をローテーションさせることにより、職員の資質の向上と各地域でのサービス水準の平準化を図る。
- ・提案事業の実施に当たっては地域間のイベント連携を意識し、住民の交流や子どもたちの参加の機会を増やす。

5 選定の理由

申請書類提出、提案説明を受け、質疑を行い、審査選考した結果、応募申請書での前向きな提案が評価された「特定非営利活動法人鹿の助スポーツクラブ」を指定管理者候補者として選定するものです。

6 選考を行った委員会

鳥取市教育委員会指定管理者選考委員会